

## 今月の寺ともさん ビビッシュ 間島かなえさん



今月の寺ともさんは、間島かなえさんです。今年1月12日付の朝日新聞に、がん治療応援のためのウィッグ帽子開発というお仕事が記事として掲載されました。

間島さんのご主人は、8年間の闘病の末、2012年にがんでお亡くなりになりました。抗がん剤治療の副作用で髪の毛が抜け落ちることを、日常生活を自然に送る上で、大変苦痛に感じておられたそうです。そんな時、ご夫婦で「こんなあったらいいのにねえ…」と話していたのが、左の写真のウィッグ付き帽子です。ご主人が亡くなって3年、昨年11月ついに商品化に成功しました。Chemotherapy(ケモセラピー)という抗がん剤治療を表す単語をもじって「チェモハット」と名付けられました。一口にがんとっても、1年中毎日病気に縛られている訳ではなく、気分のいい日は外出して楽しみたい時だってあります。そんな時に「思う存分、楽しもうよ!」と、ポンと背中を押してあげられるアイテムを、ご主人の治療中には実現できなかったからこそ作りたかったそうです。病気になっても生きる活力を失わないでほしいという間島さんの願いが込められています。この帽子はえり足ともみあげの部分にウィッグがあるので、見た目が自然です。裏地はシルクで縫い目がなく、かぶり心地がとても快適です。今後は様々なシーンに合ったアイテムを作る予定です。応援しています。

## \*\*\*\*\* ご自慢のペットちゃん \*\*\*\*\*



名前：レオン  
性別：♂  
お年：1歳ちょっと  
種類：きじとら  
好物：白身魚  
苦手：車と納豆  
住所：澁川さん宅(高松市)  
性格：大雑把

エピソード：公渚公園の駐車場で、足を踏みふみしながら、連れて帰ってくれと全身で訴えていたところを保護されたのがレオンです。とっても賢く、引き戸はもちろん、ドアノブも開けますよ。でも隣の家に遊びに行って、帰る際に後ろ脚を車にひかれて、数日ぐったりしていたこともあるとか。もう今は元気で、写真のように澁川家のお孫さんが、イタズラしても一向に気にしません。背中にオモチャをのせてもらって記念の一枚です。

ご自慢のペットちゃん  
募集中だにゃん!

## \*\*\*\*\* 総代さん便り \*\*\*\*\*

2月の法語カレンダー「生きとしいくるものすべて このみひかりのうちにある」に寄せて。

総代の松本です。皆さんはイチゴ好きですか。へたの方から食べると、先の方の甘さが強く感じられ、一層美味しいです。子どもの頃、野生していたイチゴを食べ、酸っぱかったのを覚えています。でもうれしいおやつでした。甘くなくても…。こんな話を聞きました。イチゴ農園の方が困っていると言うのです。イチゴ狩りのお客さんが入場料を払っているので良いだろうと先の甘い所だけを食べて、残りは捨てるのだとか。

最近自分本位の考え方が充満している気がします。食べ物は、「いのち」を戴いているのだということを私たちが孫子に伝えていくことが大切ではないでしょうか。

